



実験活動に伴う環境負荷の低減，水質保全及び廃棄物発生削減

財務部施設企画課 資産・環境グループ 環境マネジメント担当

島根大学松江キャンパスでは実験にて発生する廃液及び廃棄物について，環境負荷の低減，水質保全及び廃棄物発生抑制のため，実験系廃棄物類管理手引きに定められている分別方法に従って適切に分別することとしています。

実験廃液については発生する廃液が学外へ排出されることの無いよう，廃液タンクへ回収し，廃液処理業者へ処理を依頼しています。

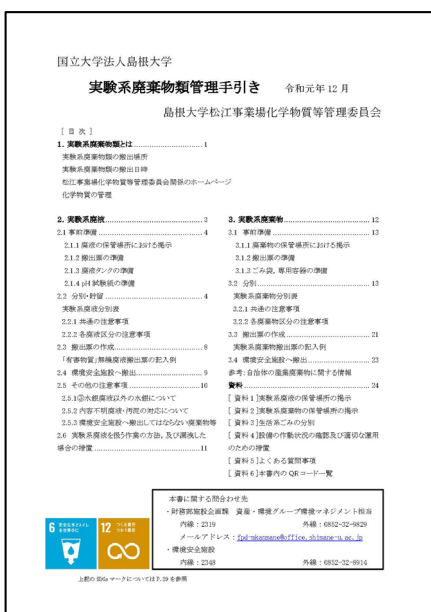
また，松江キャンパスから排出される排水について，水質汚濁防止法等の法令に基づき，毎月，水質検査を実施し，実験廃液が学外へ流出していないか確認しています。

2020年度からは，学内にて焼却処分されていた人工透析液容器を，廃液タンクとして再利用することで，年間約2,500個以上（約1,750kg）の廃棄物を削減しています。

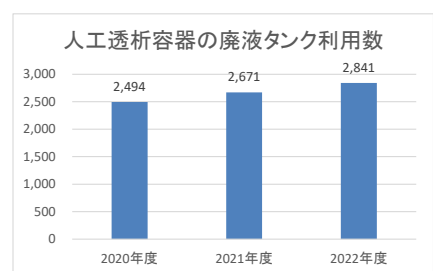
また，実験系廃棄物については，リサイクル可能なプラスチック類は固形燃料，金属類は鉄原料，ガラス類は路材等へ再利用しています。

これらの取組や情報を学内ホームページに掲載するとともに，学生実験等において，実験廃液及び廃棄物の取扱いについて説明を行い，大学全体で環境負荷の低減等の取組みを推進しています。

実験系廃棄物類管理手引き



再利用する人工透析液容器と年度間再利用数の推移図



リサイクル可能なプラスチック類，金属類

